



平成30年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 45

平成30年11月19日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

秋晴れの下、仲間と学んだ！歩いた！楽しんだ！ 11月15日・16日。6年生が修学旅行に行ってきました。



真剣に聴く。



興味津々



飛行機の真横で

ひんやりと朝から冷える15日(木)の朝。南小6年生が元気に集い、先生や保護者の皆さんに見送られて2日間の修学旅行へ出発しました。

最初は、**飛行機整備場見学**です。まず、羽田空港や飛行機の種類や構造についてのお話を聞きます。ここでは、1・2組と3・4組に分かれて、行動しました。ジェットエンジンの噴射でトラックを紙切れのように飛ばしてしまう映像やいかにたくさんの方が空港を使っているかなどの説明には**驚きの声**が上がっていました。それぞれの航空会社ごとに聞けたお話は違うところもあるでしょう。その違いを南小に帰ってから情報交換するのも楽しみです。真剣に話を聞く6年生の姿がすばらしかったです。



丁寧で説明でした

飛行機の整備の現場に向かいます。近くで見る飛行機の大きさもすごいですが、エンジンの大きさに驚いた子が多かったです。また、整備場のすぐ横に、**2・3分に1回の頻度**でジャンボジェット機が着陸します。「あれはJALだ。」「こんど来たのはANA!」「あれはどこの国の飛行機?」などの会話が続きました。ここでは、全員がヘルメットをかぶっての見学でした。

次は、上野公園です。公園入口から班別行動です。各班が自分たちで決めたコースで科学博物館や上野動物園などを見学しました。科学博物館ではちよう

ど「**標本づくりの技**」と「**日本を変えた千の技術博**」という特別企画をやっていました。動物や魚のはく製の作り方など丁寧な説明を聞き、見たこともないはく製(キリンや象の体の一部など)をじっと眺める6年生。日時計から精密なゼンマイ式時計への変遷を何百もありそうな時計を見ながら学ぶ6年生。「**ゆっくり来たい!**」という声が聞かれましたが、それも納得の見ごたえでした。また、科学博物館では、たくさんのボランティアの方との触れ合い(質問をする子もかなりいました)も思い出になったことでしょう。

上野動物園では、相変わらずのシャンシャン人気を肌で感じた6年生。110分待ちという看板を見て、じゃあゴリラを見に行こうかと言ったら、**ゴリラも大人気で見るのも大変なほど人がたくさんいました**。この広い上野公園。集合時間を守るか心配でしたが、公園入口のシロナガスクジラのオブジェ前での集合。全学級、時間を守れました。幸先のよい班行動でした。



仲良くなったスタッフの方と



何を見ようか?



タワーを上がる!



タワー内で買い物

1日目の最終見学場所は東京タワー。ちょうどサンセット時に展望台に着いた南小6年生。**みんなの顔がオレンジ色に染まりました**。また、夕日が沈むのを見た後に、バックから照らされた富士山がいつそうよく見えるようになりました。どんな声が出るかと思ったら、「富士山がきれい!」と「**あんなに富士山が小さく見える!**」でした。タワーから出た直後、ライトアップされたタワーを見上げて、その立体感に圧倒される子が多かったです。「倒れてきそう!」と叫んでいた6年生男子の気持ちもよくわかりました。

ここ、東京タワーで**一つの課題**が生まれました。**買い物時の集合時刻**を守ることです。おみやげ屋のレジで並び、間に合わない子がいました。レジが複数あるのに、店員が一人というところでもかなり遅くなってしまいました。

宿に着いたら、荷物を部屋に置き、すぐに食事会場へ向かいました。たくさんの修学旅行生、一般客がいる中、バイキング会場で料理をこぼしたり、人にぶつかったりしないかと心配でしたが、みんな**落ち着いて行動**できました。ホテルのバイキングは、和洋中とたくさんの料理が並びます。胸を張って大盛りの皿を運んでくる6年生の逞しさが嬉しかったです。**たくさんの肉をたいらげる男子、たくさんのスイーツをほおぼる女子、若者が笑顔で**



Eびょうまい!



食べる姿は気持ちのいいものでした。出発前には「食べすぎ注意」という学年指導もあったようですが、食べ過ぎて周囲に迷惑をかける子もいませんでした。夕食後、そのままお風呂に直行です。泳ぐなどというのが罪になるような大きなお風呂で楽しく過ごしていました。ジャグジーで寝転がる子や露天風呂で星を眺める子、サウナに入って水風呂を楽しむ子など、お風呂で裸の付き合いを存分に楽しんでいました。



ホテルでの夜、お風呂後の時間は余裕があり、仲間と部屋でトランプやら UNO やおしゃべりで楽しんでいたようです。9階の女子はなかなか寝付けなかった子もいたようですが、8階の男子が静かになるのは早かったです。天気が良かったから十分に活動できて疲れたのでしょう。



ホテルの廊下から千葉の広大な平野の真ん中からきれいな日の出が見られた2日目。朝食もバイキングです。昨日あれだけ食べたのに、ここでもみんなの食欲に驚かされました。ゆで卵を何個もさらに乗せ、笑顔で食べる男子がいたのには驚きました(一人ではありません)。

この朝食の後、深沢先生と西原先生から、この2日目に1日目の課題(時間)を絶対にクリアしようと指導を受けた6年生。雰囲気ピリッと引き締まりました。

ホテルのスタッフの方にお別れを告げて向かったのは、江戸東京博物館です。広大な展示面積の中に「江戸ゾーン」「東京ゾーン」と大きく二つにエリアが分けられ、「江戸」「東京」それぞれの時代を生きた人々の暮らしや文化、歴史にまつわる展示物を見学しました。長いエスカレーターを上ったところから班別行動。実寸大の日本橋と共にスタートです。



江戸のにぎわいや人々の生活感がそのまま伝わってくるジオラマを見て、「あそこでけんかがおこってる!」「あそこで大道芸やってる!」「あそこで子どもたちが遊んでる!」などの声が聞こえてきました。大名行列で地方の大名が乗った駕籠(かご)に入る子、纏(まと)とい:火消しが持った消防組織のシンボル)を持ってみる子など、実際にモノに触れて学べるのはこの施設の長所でした。

おじいちゃんおばあちゃんの家で見たことがあるのでしょうか、昭和世代の生活用品を見て、「これ見たことある!」なんて声が聞かれました。

次に向かったのは、浅草寺です。バスから降り、宝蔵門前に集合して再び班活動です。これが修学旅行最後の班別行動です。この班活動の中で、昼食、お土産、記念撮影などをします。



最近、問題になっている修学旅行生の浅草仲見世通りでの「歩きながら食べない」というルールをしっかりと守ってメロンパンや人形焼きやお煎餅を食べていました。恋みくじを引いて「大吉が出ない。納得がいかない。」と嘆いて、再びみくじを引いている子もいました。2回目も3回目も大吉は出なかったようです。

班員一人がはぐれてしまった班がありました。さっそく仲間で探しています。同じ学級の他の班の子にも状況を伝えています。すると15分後くらいに、仲間の情報をもとに班員と再会することができました。その班員同士が再会した時に、お互いに非を擦り付け合うこともせず、「よかった!」「もっとゆっくり歩こうか!」の一言でさっと班行動を再開していました。こんな姿に、班行動の良さ、6年生の成長と優しさを感じました。



前日の東京タワーでの集合時間を全員で守れなかった6年生でしたが、この浅草寺では、すべての班が余裕をもって、約束の場所で全員がそろって集合時間を迎えました。

最後は国会議事堂です。周囲のあちらこちらを警察官の方が警備する雰囲気にもこれまでは違った緊張感をもって見学をした6年生。衆議院の議会議場傍聴席に座り、天皇陛下や内閣総理大臣や貴賓が座る場所などに興味深く見入っていました。また、国会議員の方から、国会が唯一の立法機関であり2000もの法律に守られながら、国民の生活が成り立っていることも教えていただきました。

あっという間に過ぎ去った2日間。ある男子の言葉が心に残りました。ホテルでの夕食時、「どうだい?楽しく過ごせてる?」とたずねました。すると、ちょっと戸惑ったような顔で彼が言いました。「楽しくて、おもしろくて最高なんだけど……あと半分が終わっちゃうのかと思うと寂しい気分です。」という言葉。修学旅行だから楽しいのではなく、自分たちで計画し、準備し、協力してきた「仲間との旅」だから、そういう気持ちになったのでしょうね。

最後に……ここまでの子どもの体調管理を支え、旅行時の二日間、おうちで子どもたちの安全な旅程を祈って下さっていた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。どの6年生も、一回り成長し、元気に戻ってこれた素晴らしい修学旅行でした。